

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 教育学部英語教育コース

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90000 円	奨学金名：独立行政法人日本学生支援機構 2025 年度海外留学支援制度
航空運賃	120000 円	
海外旅行保険	8000 円	
研修費用	150000 円	
滞在費	20000 円	
食費	10000 円	
その他（小遣い・通信費など）	10000 円	
合計（奨学金除く）		318000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

私はこの研修に参加する前、自分のスピーキング力に自信がなかった。マレーシアに3週間滞在し、英語を話さないといけない状況に置かれることによってスピーキング力が少し向上したように思う。また、英語で話すことに自信を持てるようになったように感じた。

☆この研修で良かった点

海外に友達ができるところがよかったところだと思う。日本に帰ってきてからも、SNSを通して連絡をとり続けている。海外の友達を作れる機会はなかなかないので嬉しかった。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

授業料とホテル代が現地決済だったことに驚いた。高額な取引だから日本国内で払うことのできる仕組みが整っていたらいいのになと感じた。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

私は、今回の研修で初めて海外に行った。飛行機に乗るのも初めてだった。先生方や現地の学生、一緒に行った三重大学生のサポートのおかげで無事、海外に行き帰ってくる事ができた。

現地では原因不明の体調不良に見舞われたり、トイレやお風呂が日本と違い苦労したけど、それも含めていい経験だったと思う。マレーシアの学生はもちろん、この研修に参加しなかったら出会うことのなかった人たちと友達になれたのでよかった。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

私は現地でほとんどカードを使ったので、現金があまり必要なかったように感じた。実際に現金でしか決済できない場所はナイトマーケットと学校のカフェテリアぐらいだから、両替の額は3万円ほどでいいと思う。

また、私は現地でアレルギーを発症してしまい、現地で病院に行かざるを得ない状況になってしまった。アレルギーの薬を持っていくことを忘れないようにしたほうがいい。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（）
- ・友人や先輩の紹介（）
- ・ポスター（）
- ・その他（具体的に：）

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 三重大学教育学部英語教育コース

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90,000 円	奨学金名：JASSO
航空運賃	116000 円	
海外旅行保険	10,000 円	
研修費用	16,0000 円	
滞在費	15,000 円	最初のホテル代と洗濯機代
食費	4,000 円	
その他（小遣い・通信費など）	6,000 円	お土産代
合計（奨学金除く）		311,000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

自分の知っている英単語で何とか説明しようとする力とリスニング力があがった

☆この研修で良かった点

タチ大学のクルーやメイトの方と 1 日の大半（仲良くなって、お互いが良ければ寝るのも一緒だったりする）を過ごすので自分の要望、気分、お互いの文化の話を英語でたくさんすることができた点。

私はクルーの人たちと一緒に寝ていたので、寝る前に他愛もない話が毎日たくさんできたことが良かった。お互いわからない時は翻訳アプリを使いながらも楽しく話すことができた点。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

女性はランドリーに行くのにもクルーかメイトの付き添いが必要だった点。

加えて、食堂のランドリーが壊れていたため 2,3 日に 1 回まあまあ遠いところにあるランドリーまで歩く必要があった点。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

帰国してしばらくたっても、仲良くなったタチ大学の学生とずっと連絡を取り合っているし、何より三重大の他学部、先輩とも交流が続いているのがうれしいと感じる。日本より

たくさんの不自由のある環境で3週間、過ごして生まれた絆は強いなと思う。
また日本とは異なるイスラム教が生活に溶け込んでいる国、地域に行くことができ自分の宗教に対する考え方が変化し、もっと知りたいと思うようになった。今後もいろんな国を訪れて自分の世界、視野を広げていきたい。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

私はクレジットカードを一切使わなかったが 50,000 円両替して 10,000 円くらい余ったので余裕を持ちたい方は 50,000 円あると安心して 20 日間過ごせると思う。
ビオフェルミンは気が付いたときにいつも飲むようにしていたらお腹を壊すことなく過ごせた。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（）
- ・友人や先輩の紹介（）
- ・ポスター（）
- ・その他（具体的に：）

2025 年度 夕チ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 教育学部

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90000 円	奨学金名：JASSO
航空運賃	116000 円	
海外旅行保険	8000 円	
研修費用	150000 円	
滞在費	円	
食費	円	
その他（小遣い・通信費など）	50000 円	
合計（奨学金除く）		324000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

リスニング力が向上した。

また、英語でなんと言うかわからなくても、英語で話してみようと言う積極性が身についた

☆この研修で良かった点

英語でのプレゼンの授業など、英語の授業が受けられただけでなく、休みの日には、海に行ったり普段体験することができない様々なアクティビティができたこと。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

寮の洗濯機が使えなくて、遠いところの洗濯機まで歩いて行かないといけなかったところ

☆全体を通しての感想（写真添付可）

英語の発音や英語のプレゼンの授業が受けられて、勉強になった。それだけでなく、海でシェノーケリングをしたり、伝統衣装を着たり伝統の楽器を弾けたり、普段体験できないようなことができて、とても楽しかった。

現地の大学生が、つきっきりでサポートしてくれて、とても親切だった。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

正露丸とかビオフェルミンとか、整腸剤などを持っていくと安心

ポケットティッシュとか紙コップとかハンガー、洗剤など、現地で買えるものも結構ある。

（トイレトペーパーは売ってない）

荷物が多く、大きめのスーツケースが必要だったが、重量制限をクリアするのが大変だった。

帰りも、お土産などで荷物が増えるから、重量に気をつけることが大切。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（）
- ・友人や先輩の紹介（）
- ・ポスター（）
- ・その他（具体的に：）

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 生物資源学部 生命化学コース 1年

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90,000 円	奨学金名：JASSO 奨学金
航空運賃	116,100 円	
海外旅行保険	1,460 円	
研修費用	約 150,000 円	
滞在費	約 5,000 円	
食費	約 10,000 円	
その他（小遣い・通信費など）	40,000 円	
合計（奨学金除く）		約 330,000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

マレーシアの友達と、英語で毎日会話するうちに、自分の気持ちをすらすらと英語で表現できるようになったと思う。

☆この研修で良かった点

マレーシアの友達は全員とても優しく面白くて、私たちのことをとても受け入れてくれた。日本では体験できない伝統楽器の演奏や、きれいな海にもいけてすごく楽しかった。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

マレーシアはトイレにトイレットペーパーがなく、自分でずっと持参しなければいけないのが大変だった。寮のトイレやシャワー室が少し汚かったので、きれいにしてほしい。また、猫がそこら中にいることを知らなかったのが、公衆トイレの中に猫が居座っていたのを見たときはとても驚いた。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

自分は友達が誰もいない状態で参加したので、そもそもみんなと仲良くできるかとても不安だった。でも、みんなとても優しい人たちだったので、毎日楽しく寮生活を送ることができた。3週間休みなく毎日何らかのアクティビティがあったのは少し大変だったけど、（寮には洗濯機がないので10分くらい歩いて洗濯をしに行ったりもした。）かけがえのない思い出と友達を作ることができた。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

トイレットペーパー×5
ウェットティッシュ×5
ゴミ袋とか、服を入れる袋。たくさん袋！
洗剤。ファブリーズ。
日本食（お菓子、カップ麺）
お箸！！フォーク！！スプーン！
お椀←マレーシアは、スープを袋で提供してくる！

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（）
- ・友人や先輩の紹介（）
- ・ポスター（）
- ・その他（具体的に：）

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	25 万円	奨学金名：jasso
航空運賃	116100 円	
海外旅行保険	8330 円	
研修費用	約 14 万円	
滞在費	約 13000 円	2 日分のホテル
食費	約 3000 円	
その他（小遣い・通信費など）	15000 円	外貨両替
合計（奨学金除く）		295000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

訛りのある英語でもある程度は聞き取れるようになったし、自分から英語で話しかけてみることができるようになった。
もっと英語が話せるようになりたいと感じるようになった。

☆この研修で良かった点

常に現地の学生が隣にいてくれるし彼らはとても親切だったので、困ることはほとんどなかった。
学校外でのアクティビティが多く楽しめた。英語を学ぶだけでなく、マレーシア、トレンガヌという地について知ることができた。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

近くの洗濯機が使えずとても不便。使える洗濯機は 1 km 程歩く必要があり遠い。にもかかわらず、現地の学生についてきてもらわないといけないので申し訳なかった。寮から自由に出られない。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

最初はあと 3 週間もここでやっていけるのかと不安だったけど、参加した日本人メンバーは良い人ばかりで最後は別れるのがつらかったです。異国の地で一緒に暮らすというだけで、自然と仲良くなれたので、一緒に参加する友達がなくて平気だと思います。

現地の学生も簡単な英語を使ってくれたり、私たちのために日本語を使おうとしてくれたり、本当にフレンドリーでした。また、特に何か起こったわけはなくても頻繁に気にかけてくれて、とても親切でした。学校の外で関わるマレーシア人も温かい人ばかりで、マレーシアという国が好きになりました。もう一度マレーシアに来れる機会があれば、ぜひきたいと思えるほどです。

今回のプログラムが私に与えた影響として、一番大きいのは言語への関心です。短い期間だったので英語力が目に見えて伸びるということはありませんでしたが、外国語に対する意欲は以前よりだいぶ大きくなりました。今はスマホアプリで外国語の勉強をしています。現地の人と英語で会話すると、自分ももっと英語がスラスラと話せるまで上達したいと感じました。それだけでなく、マレーシアの人は、マレー語英語以外にも学んでいる言語があり、その言語に対する意欲に影響を受けました。

またマレーシアでの生活を通して、宗教と人々の暮らしがどれくらい密接なものかを知ることができました。異文化や外国に少しでも興味のある人にはぴったりのプログラムだと思うし、私は参加してとても意義のある時間を過ごせました。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

よく行くことになる、学校のカフェテリアとナイトマーケット以外の場所では大抵クレジットカードが使えるので、現金は 15000 円分ほどで足りました。トイレトペーパーも 2 倍巻きが 1 つあれば十分でした。薬も特に服用しませんでした。腹痛に襲われている子や発熱している子もいたので、それらを対処する薬があるといいと思います。ちなみに寮の水道でうがいとかしても、体調を崩している子はいませんでした。

寮にコップやフォークを置いておくと便利だと思います。

洗濯は時間もお金もかかるので、2, 3 人で一気に回すのがおすすめ。ハンガーはもちろんピンチハンガーもあると便利。

女子寮の玄関のドアがすごい勢いで勝手に閉まるので注意！

寮内で履くスリッパもあったほうがいい。

カフェテリアの右から 3 番目の店が安くて美味しい。

スマホの SIM について何も考えていなかったのですが、マレーシアの空港で買えました。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（）
- ・友人や先輩の紹介（）
- ・ポスター（）
- ・その他（具体的に：）

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	25 万円	奨学金名 : jasso
航空運賃	116100 円	
海外旅行保険	8330 円	
研修費用	約 14 万円	
滞在費	約 13000 円	2 日分のホテル
食費	約 3000 円	
その他 (小遣い・通信費など)	15000 円	外貨両替
合計 (奨学金除く)		295000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

訛りのある英語でもある程度は聞き取れるようになったし、自分から英語で話しかけてみることができるようになった。
もっと英語が話せるようになりたいと感じるようになった。

☆この研修で良かった点

常に現地の学生が隣にいてくれるし彼らはとても親切だったので、困ることはほとんどなかった。
学校外でのアクティビティが多く楽しめた。英語を学ぶだけでなく、マレーシア、トレンガヌという地について知ることができた。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

近くの洗濯機が使えずとても不便。使える洗濯機は 1 km 程歩く必要があり遠い。にもかかわらず、現地の学生についてきてもらわないといけないので申し訳なかった。寮から自由に出られない。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

最初はあと 3 週間もここでやっていけるのかと不安だったけど、参加した日本人メンバーは良い人ばかりで最後は別れるのがつらかったです。異国の地で一緒に暮らすというだけで、自然と仲良くなれたので、一緒に参加する友達がいなくて平気だと思います。

現地の学生も簡単な英語を使ってくれたり、私たちのために日本語を使おうとしてくれたり、本当にフレンドリーでした。また、特に何か起こったわけはなくても頻繁に気にかけてくれて、とても親切でした。学校の外で関わるマレーシア人も温かい人ばかりで、マレーシアという国が好きになりました。もう一度マレーシアに来れる機会があれば、ぜひきたいと思えるほどです。

今回のプログラムが私に与えた影響として、一番大きいのは言語への関心です。短い期間だったので英語力が目に見えて伸びるということはありませんでしたが、外国語に対する意欲は以前よりだいぶ大きくなりました。今はスマホアプリで外国語の勉強をしています。現地の人と英語で会話すると、自分ももっと英語がスラスラと話せるまで上達したいと感じました。それだけでなく、マレーシアの人は、マレー語英語以外にも学んでいる言語があり、その言語に対する意欲に影響を受けました。

またマレーシアでの生活を通して、宗教と人々の暮らしがどれくらい密接なものかを知ることができました。異文化や外国に少しでも興味のある人にはぴったりのプログラムだと思うし、私は参加してとても意義のある時間を過ごせました。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

よく行くことになる、学校のカフェテリアとナイトマーケット以外の場所では大抵クレジットカードが使えるので、現金は 15000 円分ほどで足りました。トイレトペーパーも 2 倍巻きが 1 つあれば十分でした。薬も特に服用しませんでした。腹痛に襲われている子や発熱している子もいたので、それらを対処する薬があるといいと思います。ちなみに寮の水道でうがいとかしても、体調を崩している子はいませんでした。

寮にコップやフォークを置いておくと便利だと思います。

洗濯は時間もお金もかかるので、2, 3 人で一気に回すのがおすすめ。ハンガーはもちろんピンチハンガーもあると便利。

女子寮の玄関のドアがすごい勢いで勝手に閉まるので注意！

寮内で履くスリッパもあったほうがいい。

カフェテリアの右から 3 番目の店が安くて美味しい。

スマホの SIM について何も考えていなかったのですが、マレーシアの空港で買えました。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（）
- ・友人や先輩の紹介（）
- ・ポスター（）
- ・その他（具体的に：）

2025 年度 夕千大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部法律経済学科 3 年

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	140,000 円	奨学金名：人文学部からの補助金
航空運賃	116,100 円	株式会社 HIS
海外旅行保険	9,790 円	学研災付帯海外留学保険
研修費用	200,000 円	授業料、パスポート、現金
滞在費	10,000 円	ホテル代
食費	15,000～20,000 円	学食、朝食、外食
その他（小遣い・通信費など）	0 円	au 海外放題を利用
合計（奨学金除く）		約 350,000 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

マレーシア研修には、事前に英語力を鍛えずに参加した。最初の頃は、英語が速く聞き取れることも難しかった。自分から伝える際も、言葉がなかなか出てこなかった。マレーシアで過ごす時間が長くなるにつれて英語に慣れ、聞き返すことが次第に減った。伝えたいことを言葉にするのにも慣れてきて、英語でもコミュニケーションが取れるようになってきたことを実感できた。ただ、長い文章や話すのが速い時には、英語の聞き取りが難しく理解に困っていた。短文での会話なら、心地よくコミュニケーションが取れるようになった。

英語力（リスニング・スピーキング）を鍛えるには、めげないことやコミュニケーションを取りたい気持ち（相手の言っていることを理解したい、自分の考えを伝えたなど）が大切だと感じた。英語を聞き取ることができなくても、聞き取れるまで聞こうとすること。あまり意味を理解できなかつたとしても、単語で聞き返してみ確認すること。合っていないのもいいので、自分の考えや伝えたいことを英語にしてなんとか伝えてみることを。英語で会話をしようとするれば、自然と英語でコミュニケーションが取れるようになっていくことを経験できた。

☆この研修で良かった点

他の海外プログラムに比べ、お手頃な費用（補助金も出していただける）なので、初めて海外に行きたいという方も参加しやすい。在学中に一度は海外に行きたいと考えていたけど、補助金を含めても費用が高額なプログラムが多かったので、見つけたときは行くしかないと思った。自分にとっては初めての海外であり、特に気持ちの面で心配をしていた。渡航期間が長いと、精神的に辛くなった時に大変だと不安があった。そのため、この研修プログラムの渡航期間は短すぎず、長すぎず、ちょうど良いと感じた。海外プログラムに参加するうえで「費用」と「渡航期間」が主な不安だったが、どちらも満足できるプログラムだった。

研修に参加した今、本当に参加してよかったと思うプログラムだった。研修では、沢山の友人ができ、沢山の思い出を作ることができ、様々な経験をし、多くの学びを得ることができた。

研修先のタチ大学では、予め組まれた予定に沿ってプログラムが進められた。頻りに三重大大学の学生の体調などに気を遣ってくれて、必要に応じて予定を変更してくださった。無理だけはしないように、と私たちのことを第一に考えてくださっていた。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

特にありません。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

今回のマレーシア研修には、英語力を十分に準備しないまま参加した。研修の初めは、現地の英語のスピードに慣れず、聞き取ることも話すことも難しく感じた。自分の考えを英語で伝えようとしても、言葉がなかなか出てこず、もどかしさを覚える場面が多かった。しかし、現地での生活を重ねるうちに少しずつ英語に慣れ、聞き返す回数が減っていった。短い会話であれば、自然にやり取りできるようになり、英語でのコミュニケーションに対して前向きな気持ちを持てるようになった。英語力を伸ばすうえで大切だと感じたのは、「伝えたい」「理解したい」という気持ちである。聞き取れなかった場合でも何度も聞いてみることで、意味がわからなくても単語で確認してみることで、そして完璧でなくても自分の言葉で伝えようとする姿勢が、英語でのやり取りを前向きにしてくれた。

このプログラムは、他の海外研修に比べて費用が抑えられており、補助金の支援もあったため、初めて海外に行く自分にとって非常に参加しやすい内容であった。渡航期間も長すぎず短すぎず、精神的な負担を感じることなく安心して参加することができた。研修先のタチ大学では、三重大大学の学生の体調や状況に配慮しながら柔軟にプログラムを進めてくださり、安心して学びに集中することができた。多くの友人と出会い、たくさんの思い出を作り、様々な経験を通して多くの学びを得ることができたこの研修は、自分にとって本当に参加して良かったと思える貴重な機会であった。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

マレーシアでの買い物は、現金のみの場所以外は基本カードで支払いをしていました。大学の食堂、ナイトマーケットの買い物、リゾートでの食事が現金のみ

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（○）
- ・友人や先輩の紹介（ ）
- ・ポスター（ ）
- ・その他（具体的に： ）

2025 年度 夕チ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部文化学科

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	200000 円	奨学金名：令和7年度桑名市海外留学支援奨学金
航空運賃	116100 円	
海外旅行保険	8330 円	
研修費用	約 150000 円 (990 ドル)	為替レートや店舗による
滞在費	30000 円	ホテル、朝食付き
食費	20000 円	レストランでの食事も含めて
その他（小遣い・通信費など）	10000 円	お土産、sim
合計（奨学金除く）		334, 430 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

今回の研修では今まで学んできた英語の単語や文法とは異なる、現地での英語を実際に経験することができた。初めは喋ることに緊張していたが、そのうちに文法的な正確さを気にし過ぎずに、直ぐに英語が出るようになっていた。ショッピングモールでは英語で書かれた商品が多くあり、実際に見ることで新たな語彙を身につけることが出来た。マレーシアで話される英語は様々な英語だったが、どんな状況でも聞き取ることを意識し話していた。

☆この研修で良かった点

マレーシア研修では日本では経験することが出来ないことを多く経験出来た。特に現地でイスラム教徒の学生達と一緒に行動し、生活することはマレーシアのイスラム教の理解に役立ち、日本のイスラム教についての理解も深めることが出来た。現地の学生達はこちらが聞き取りやすい英語を話していたことで、こちらもコミュニケーションを取れるようになった。現地で教授からプレゼンテーションの講義を受け、練習して発表することで自身のプレゼンと英語の両方を成長出来たこと。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

研修費用が 990 米ドルであることを説明会の時に必ず伝えること。今回留学支援奨学金があったため対応出来たが、円安の時代に米ドルで支払う必要があることを伝えていなかったことはおかしい。タチ大学の wifi が暗号化されていないため、パソコンのセキュリティソフトが干渉したので、wifi を改善してほしい。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

マレーシア研修では日本では経験することが出来ないことを多く経験出来た。特にイスラム教徒の学生達と一緒に行動し、生活することはあまりないことだったので良かった。日本とは違う生活様式に始めは苦労したが、次第に慣れていった。英語は単語や文法は理解しても、実際に使うとなると咄嗟に出てこず困っていたが、ジェスチャーや単語だけでも何とか伝えることが出来たので積極的なコミュニケーションを意識していきたい。将来今回の経験を活かし、多様な背景を持つ人々との接触を通じて、状況に応じたコミュニケーションを取れるようになりたい。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

寮での起床時間、消灯時間、就寝時間は決めておく。目覚まし時計は時間を揃えてみんな一緒に起きた方がストレスないです。胃腸薬は必ず持っていくべき、身体が現地の香辛料や飲み物に慣れていないうちは飲んでおくべきです。バスロールは二つで十分。両替はナイトマーケットとカフェテリア以外はクレジットカードが使えるので三万円程度で十分です。ペーパータオルはがあると便利です。カフェテリアは9時開店で授業は8時半からなので、朝食は自販機で軽食を買うかショッピングモールなどで保存のきく食べ物を買きましょう。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（○）
- ・友人や先輩の紹介（ ）
- ・ポスター（ ）
- ・その他（具体的に： _____）

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部・文化学科

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90,000 円	奨学金名：JOSSO 奨学金
航空運賃	116,100 円	
海外旅行保険	7,800 円	
研修費用	150,000 円	990 米ドル
滞在費	約 10,000 円	
食費	約 10,000 円	
その他（小遣い・通信費など）	約 30,000 円	
合計（奨学金除く）		323,900 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

この研修を通して単語や文法をどれだけ知っていても、話す力、伝えようとする力がなければ何も伝えることができないのだと気づかされた。聞く力もちろん大切であり、タチ大学の方々はゆっくり話してくれていたから聞き取りやすかったが、普通のスピードではほとんど理解することができなかった。自分の英語能力の低さをとても感じた。完璧な英語を話さなければならないと思い、初めは何も話すことができなかった。完璧な英語を言おうとしてもアメリカ英語を学んでいる私の発音をうまく聞き取ることができないことも多かった。

しかし、コミュニケーションは言葉だけでなく、ボディランゲージも重要であることにも気づかされた。ボディランゲージを使いながらつたない英語ではあったが話してみるとよく伝わった。その会話の後には翻訳機能なども使いながら、どのように言葉だけで伝えればよかったのか考え直して見て簡単な英語での会話を意識しながら話すようにした。それを続けていると使う英語というのは日常会話の中でそこまで多くないことに気が付いた。英語は使うことで力を伸ばすことができるのだと思った。日本に戻ってからも英語に触れられるようにしたいと強く思う。そして完璧な英語ではないにしろ力を伸ばしたいため、今ま

での勉強もし続け、また海外への留学に挑戦したいと思う。

☆この研修で良かった点

毎日が刺激的であった点。日本にいたとしたりできないことを数多く経験できた。日本の環境では見られない、海外らしい一面。価値観の違いを肌で感じることは自分の価値観を大きく変化させるきっかけになった。マレーシア人が何を考えているのかについてはほとんど日本人の私と変わらなかった。人種や国籍が違っても同じなのだと感じることも多かった。偏見が本当に少なくなったと感じる。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

寮にカビやほこりが多かった点。

またアリが部屋の中にもたくさんいた。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

マレーシアでの生活は私の価値観を大きく変えるきっかけになった。イスラム教は私にとってなじみのないものであり、新しい発見がたくさんあった。お祈りを実際にみて本当に行っているのだと実感でき驚いた。食べるものに関してもコーランをきちんと守っていて日本の食べ物をあげようとしても原材料欄を凝視して食べられるのか確認していた。無宗教の私にとってなぜコーランを守るのか理解するのは難しく感じたけど、そのような価値観を知ろうと様々な質問をして学ぶことができた。日本に戻ってからはイスラム教徒の方を見ると、今までとは違う見方をすることができるようになった。マレーシアの友達をとっても思い出す。そしてハラール料理や祈祷室などもよく見つけることができるようになった。私にとってなじみのないものでなくなったように感じている。

この3週間は私に大切な友人とたくさん思い出を与えてくれた。そしてこの経験を通して英語の勉強をより頑張ろうと思えし、勉強の方法も単に単語を覚えるのではなく、話すことや聞くことを意識した勉強をしようと思えた。伝えようとするのが大切であると学ぶことができた。いつかまた友人にも会いたいし、ほかの国にも行ってみたいと思う。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

両替は3万円程度が周りを見てもちょうどよかったように思う。

バスロールは2個。

自分がリラックスすることができるためのものを持っていくといい。私の場合であれば、お茶がとても好きなので、玄米茶や緑茶、ジャスミン茶、ほうじ茶を持っていき毎日飲んでいった。使い捨てカップや割りばし、多めにウェットティッシュなど持っていくと便利であると思う。タオルは少し高いように感じたので、マレーシアで捨ててもいいようなタオルを持っていけばよかったと思っている。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・ 国際戦略機構からの案内 （○）
- ・ 友人や先輩の紹介 （ ）
- ・ ポスター （ ）
- ・ その他（具体的に： _____)

2025 年度 夕チ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部文化学科

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90000 円	奨学金名：
航空運賃	116100 円	
海外旅行保険	8330 円	
研修費用	約 150000 円	
滞在費	12870 円	1 日目 2 日目のホテル代
食費	約 15000 円	
その他（小遣い・通信費など）	約 16000 円	通信費 1050 円
合計（奨学金除く）		318300 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

相手が話してくれるのをとにかく聞いて理解する必要があるため、リスニング力が大幅に向上した。また、状況からこのようなことを言いたいのだろうと察知する能力も身についたように思う。

☆この研修で良かった点

とにかく様々なアクティビティを体験できた点。ナイトマーケットやモールでのマレーシアの食体験だけではなく、島に行ってシュノーケリングを楽しんだり、リゾートで自然を楽しんだりマレーシアの魅力をより深く知ることができたように思う。また、現地の人の温かみをたくさん感じることができ、国境を超えて優しさが繋がっていることを知ることができた点。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

トイレやシャワーの衛生環境があまり良くなかった。また、洗濯場まで遠く歩いて 20 分ほどかかり、クルーの許可が出ないと洗濯ができないということで、2,3 日に 1 回しか洗濯ができなかった点。洗濯は全て合わせて 7 リンギットかかるのでマレーシアにしては高く、痛手の出費だったので、洗濯はカードを支給するなどして代金を毎回払わなくて済むように改善してほしい。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

マレーシアへ発つ前日は全く実感が湧かなかったが、これまでの人生で経験したことないほどの刺激的で充実した時間を過ごせたことが本当にうれしい。率直に英語がとても上達したのかと言われるとわからない。しかし、少なくとも母国語の通じない環境で異国の子と沢山コミュニケーションをとることが出来たという経験自体が英語上達のための最も大きな一歩であり、これからの英語を学んでいくうえでの大きな自信に繋がったように思った。会って間もない頃はお互いに意思疎通で苦勞していた。お互いが理解しようとするほど小さな齟齬が積み重なり誤解が生じることが度々あった。その時に私たちは互いに表情や声のトーンで相手がどんな感情を抱いているのか想像していたことが分かった。言語が分からないとなると、相手を読み解くカギは表情となる。私たちは思ったより真顔で話していて顔から感情は伝わりづらいものの、言語が伝わらないとそこに集中してしまうため怒っていると思われ、何か快くないことがあったのかと心配されてしまう。その意味でも言語は相手の心のうちを知るための最重要手段であることを再認識した。

現地のタチ大学の子のみならず、同じ研修に参加した日本人メンバーも共に寮生活していく中で課題解決のために一丸となり、強固なチームワークを発揮できて良かった。皆が人の為に動こうと努力し、ときに反省している姿に私自身も心が洗われた。相手を思う親切心やその行動に言語は関係ないということが今回一番学んだことかもしれない。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

両替の額は 2 万 5000 円で十分だった。ナイトマーケットやカフェテリアで現金を使い、それ以外(モールでの買い物やクレジットカード決済可能なお店)ではクレジットで払うようにすればこの額で足りると思う。最後にリゾートでいろんなアクティビティをしたい人は現金が多く必要かもしれないが、現地で両替可能なので心配は必要ない。薬はそこまで使わなかったが、胃腸薬があると安心だと思う。シャンプーなども現地で日本製品が買えるので持参しなくてもよかったように感じた。

猫がどこにでもたくさんいるので猫アレルギーの人は注意が必要。

2025 年度 夕千大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文社会科学研究科

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	0 円	奨学金名：
航空運賃	116000 円	
海外旅行保険	9300 円	
研修費用	140000 円	
滞在費	22000 円	
食費	24000 円	
その他（小遣い・通信費など）	1500 円	
合計（奨学金除く）		312800 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

本活動に参加したことにより、自然に英語を話す力が大きく向上した。高度な語彙を多く使用できるわけではないが、クラスメートや先生との円滑なコミュニケーションが可能となり、英語を口に出して話すことに関して大きな進歩と自信を得ることができた。

また、本経験を通じて、言語知識は交流のための手段にすぎず、相手と意思疎通が図れるのであれば、その手段は十分に有効に活用できているのだという認識を改めて得た。

☆この研修で良かった点

本活動は、現地の学生と共に授業を受けるだけでなく、現地の伝統文化を体験する機会も含まれていた。その中で、伝統文化の体験は特に貴重であり、最も印象に残った点である。文化体験を通じて、単なる知識の習得にとどまらず、文化そのものに関する交流を行うことができた。その結果、視野を広げると同時に、自身の言語運用能力やコミュニケーション能力の向上にも大きくつながった。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

研修の途中で体調を崩す参加者が多く見られた。プログラムの内容や気候の変化、慣れない生活環境などが要因と考えられる。今後は、参加者の健康管理に配慮し、休養時間を確保したり、体調に関するサポート体制を整えたりすることで、より安心して研修に参加できるようになると思われる。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

マレーシア異文化交流の短い三週間の間に、私たちは数多くの文化的な交流を経験し、忘れがたい思い出を得ることができた。マレーシアの伝統的な衣装を身にまとい、伝統料理を自ら作り、さらに現地の風土や人々の生活様式に触れることができたのである。この三週間は人生の長い時間の中でも特に鮮やかな一筆として刻まれ、深い印象を残すものであった。その中でも最も印象に残っているのは、マレーシアの授業における軽快で自由な雰囲気である。学習は必ずしも厳格で堅苦しい姿勢と結びつく必要はなく、むしろ楽しさや心地よさを伴うことで、知識をより効果的に吸収できるということを実感した。私自身にとっても、軽やかで明るい環境の方が学びに適していると感じられた。

さらに注目すべき点は、教師たちが自らの子どもを学校や教室に連れてくることである。授業を担当していた教員の多くは女性であったが、子どもを伴う姿はマレーシアにおいて自然で一般的な光景であり、仕事と家庭生活の両立を実現する一つの方法となっていた。対照的に、中国や日本の教育現場においては、このような場面はほとんど見られない。

私は、この実践は女性のみならず男性にとっても可能であるべきだと考える。親が子どもを職場や学習の場に連れて行くことは、仕事と生活の調和を図るだけでなく、子どもにとっても多様な人々や環境に触れる貴重な機会となる。こうした経験は子どもの視野を広げ、成長に大きく寄与するものである。マレーシアでの観察を通じて、教育と家庭のあり方について新たな視点を得ることができたのである。



2025 年度 夕チ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部文化学科

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90000 円	奨学金名：JASSO
航空運賃	116100 円	
海外旅行保険	8330 円	
研修費用	149806 円	990 ドル
滞在費	23558 円	2 泊分ホテル代
食費	10000 円	
その他（小遣い・通信費など）	20000 円	洗濯代、通信費、お土産など
合計（奨学金除く）		327794 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

伝えたい言葉や考えを即座に英語で伝えることができなくてもどかしいと感じることが多かった。三週間という短い期間ではスピーキング力に大きな成長を感じることはできなかったが、英語を聞き取る耳は徐々に慣れてきたと思う。自分の考えを英語で流暢に伝えることはまだ難しいが、リスニングの力が少し伸びていると感じられたことは自信につながった。次に海外に行くときは、もっと英語を勉強して、特にスピーキングの力を高めたいと強く思うきっかけになった。

☆この研修で良かった点

マレーシアの食べ物や文化を体験できた。自然のアクティビティも多く、楽しかった。初めて外国の友達ができ、異なる背景を持つ人々とコミュニケーションを取る楽しさを知り、自分の英語力を高めたいという意欲につながった。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

近くの洗濯機が壊れていて使えなくて、徒歩 15～20 分のところまで毎回洗濯をしに行くのが大変だった。

シャワーの水圧が弱かった。

☆全体を通しての感想（写真添付可）

日本ではできないような体験をすることができ、とても楽しかった。私は今回が初めての海外であったが、日本で当たり前だと思っていたことがそうではなかったり、逆に現地の人にとっては当たり前のことが自分にとって新鮮で驚きであったりと、知らなかった世界を知ることができて非常に興味深い経験となった。現地の先生や学生たちもみな優しく気にかけてくれたため、最初は初めての異国の地で不安もあったが、安心して過ごすことができた。猫が沢山居て可愛かった。

☆この研修に参加する人へのアドバイス（両替の額、バスロールの数、持参する薬…）

主にカードで支払うなら、両替は 2 万 5 千円くらいで足りると思う。

洗濯は遠いし、毎回お金もかかるので着替えを多く持って行った方が良いと思う。

ウォーターサーバーがあるので水筒を持っていくと便利だと思う。

この英語研修を知った理由（○をつけてください）

- ・国際戦略機構からの案内（○）
- ・友人や先輩の紹介（ ）
- ・ポスター（ ）
- ・その他（具体的に： _____）

2025 年度 タチ大学夏期英語・異文化研修

所属学部・研究科 人文学部・法律経済学科

☆研修費用等内訳

項目	金額	備考
奨学金	90,000 円	奨学金名：JASSO 奨学金
航空運賃	116,100 円	
海外旅行保険	9,070 円	
研修費用	150,000 円	
滞在費	10,000 円	
食費	3,000 円	
その他（小遣い・通信費など）	8,000 円	e-sim
合計（奨学金除く）		296,170 円

☆この研修が自分の英語力に与えた影響

三週間毎日英語に触れていたことで、リスニング力がかなり鍛えられたと感じています。

☆この研修で良かった点

今回の研修で特に良かったと感じているのは、現地の文化を直接体験できたことです。マレーシアのいろいろな料理を実際に食べたり、伝統衣装を体験し生活スタイルに触れたりする中で、「文化を学ぶ」とはこのようなことなのだと実感しました。ただ教科書で知るだけではわからない、リアルな空気感を味わえたのがとても新鮮でした。

また英語でのコミュニケーションに少し自信が持てたことも大きな収穫です。最初は英語がうまく通じるか不安もありましたが、現地のクルーや学生たちが優しくサポートしてくれて、思っていたよりもスムーズに話すことができました。難しい言葉でなくても、伝えようとする気持ちがあれば十分なんだと感じられたのは、自分にとって大きな気づきでした。

☆この研修で悪かった点・改善してほしい点

- ・寮の近くのランドリーが使えなかった点
- ・水しか出ないシャワーがあった点

☆全体を通しての感想（写真添付可）

今回のマレーシアでの短期研修は、自分にとって本当に大きな経験になりました。マレーシアでの生活は毎日が新しい発見の連続で、あっという間の3週間でした。

特に印象に残っているのは、現地の学生たちとの交流です。言葉の壁がある中でも、タチ大学の学生たちはとても親切でフレンドリーに接してくれて、自然と仲良くなることができました。一緒に授業を受けたり、アクティビティに参加したり、食事をしたりする中で、文化や習慣の違いをお互いに教え合うことができ、短期間でもしっかり信頼関係が築けたと感じています。（帰りの空港では多くの学生が涙するほど仲が深まりました）

英語でのやり取りは、最初は緊張しましたが、サポートしてくれるクルーや現地の学生たちがいてくれたおかげで、失敗を恐れずに話してみようと思えるようになりました。その結果、以前よりも英語での会話に自信が持てるようになり、自分のコミュニケーション力も少しずつ成長できたと思います。

また、現地の文化や生活を実際に体験できたこともとても貴重誠であると感じています。特にマレーシアのさまざまな料理を味わえたことは楽しい思い出のひとつです。バナナボールやオンデオンデが特においしかったです。日本ではなかなか知ることのできない価値観やライフスタイルに触れ、物事を多面的に見ることの大切さにも気づかされました。

この研修を通して得たものは、英語のスキルだけでなく、人との関わり方や異文化に対する柔軟な考え方、そして挑戦する姿勢です。これからの学生生活や将来のキャリアの中でも、今回の経験をしっかり活かしていきたいと思います。



↑ 伝統料理作り体験(オンデオンデ)



